



第63期

報告書

# 京写レポート

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株式会社 **京写**

証券コード 6837





株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第63期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）における営業の概況ならびに決算の内容をご報告申し上げます。

## 1. 企業集団の事業の経過及びその成果

当連結会計年度の当社が属するプリント配線板業界の状況は、国内外共に上期を中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け上期低迷したものの、下期からは中国をはじめ東南アジアや国内においても緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業ではスマートグリッド関連は堅調に推移し、下期からは主力の自動車関連や家電製品分野において

も受注の回復が見られましたが、上期の低迷を補完するには至りませんでした。

実装関連事業においては、搬送用具事業、実装事業共に受注の低迷が続き、これらの結果、国内の売上高は、前年同期を下回る結果となりました。

海外においては、中国での受注は下期より自動車関連や事務機分野で回復が続き、インドネシアは事務機分野の受注が堅調に推移しましたが、上期低迷の影響が大きく、前年同期を下回りました。

これらの結果、連結売上高は17,334百万円（前年同期比8.9%減 1,688百万円の減収）となりました。

利益面は、ベトナム子会社の生産開始準備費用の影響があったものの、受注低迷に対応するため推進してきた生産性向上策や業務効率化による経費削減の成果及び品質改善が進み、下期からの受注回復の結果、営業利益は98百万円（前年同期比23.7%増 18百万円の増益）、経常利益は、159百万円（前年同期比62.4%増 61百万円の増益）となりました。

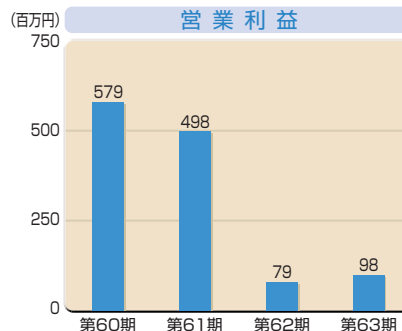
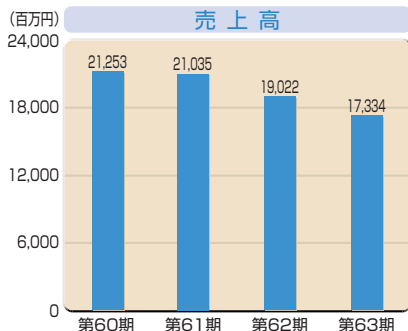
親会社株主に帰属する当期純損失は、中国子会社で過年度法人税等158百万円を計上の結果、135百万円（前年同期比136百万円の減益）となりました。

## 2. 企業集団の設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度中の設備投資の総額は2,349百万円であり、その主なものは次のとおりであります。

当連結会計年度中に完成及び取得した主要な設備  
 京写（京都工場） 回路形成前処理機、屋外型キュービクル  
 京写（新潟工場） 薬液タンクヤード  
 三和電子 高速ディスプレイ、ロボドリル  
 京写広州 フォトソルダーレジスト形成装置  
 京写ベトナム 工場建物、製造設備一式

上記設備投資の資金は、自己資金及び借入金によっております。



### 3. 企業集団が対処すべき課題

当社グループはグローバル市場において顧客満足を第一とし、「地に足のついた経営」を進め持続した成長を目指すことを基本とし、そのために以下を経営基本方針といたしております。

- ①すべての事業活動において「安全の確保、法令の遵守、環境保全」を最優先する。
- ②顧客のニーズに応え、新技術、新工法の開発と品質向上にたゆまぬ努力を傾注する。
- ③選択と集中を進め、自社の強みを活かした分野に経営資源を集中する。

また、当社グループは2020年3月期を初年度とする5ヶ年の中期経営計画を策定し、スタートさせておりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大、長期化の影響を受け、推進してきた各戦略に遅れが生じ、目標との乖離が大きくなったことから、中期経営計画を見直すことといたしました。

事業環境は2019年の中期経営計画策定時と比べ厳しい状況にあるものの、重要市場として注力していた自動車や再生可能エネルギー分野の成長は続いており、またサプライチェーン分散化の加速によるベトナムの成長なども当社の目指していた方向と同じであることから、中期経営ビジョンや基本戦略、6つの重点戦略は変更せず継続とし、期間を2年延長することと致します。

当社グループは、グローバル生産・販売網の拡充やコア技術の深化によるニッチ・成長市場の開拓、DXを活用した生産性向上などの事業環境の変化に対応した各種施策を実行し、持続的成長に向け全社一丸となって経営目標の実現に取り組んでまいります。

- (1) 中期経営ビジョン・スローガン  
「一流になる・Build Trust」

企業にとって信頼関係を構築することが最も重要であるとの考えから、会社とお客様、協力会社に加え、社員同士も互いに強い信頼関係を構築することで、一流の会社、一流の人材を目指します。

- (2) 基本戦略

「企業間連携を最大活用し、独自技術に磨きをかけグローバルニッチトップメーカーになる」

激しく変化する事業環境において、多方面に事業を展開し、そのすべてを自社で行うことは難しくなりつつあるため、特定分野にターゲットを絞り、経営資源を集中させ、当社のコアコンピタンスである印刷技術を武器に様々な分野でパートナーシップを構築することで、グローバルニッチトップメーカーを目指します。

- (3) 2026年3月期の経営目標

中期経営計画は最終年度の2026年3月期に売上高300億円、営業利益16億円、営業利益率5.3%、ROE（自己資本利益率）10%を目標としております。この目標を達成するため次の6つの重点戦略を以って計画の達成を図ります。

- ①グローバル生産・販売戦略
  - ②企業間連携戦略
  - ③効率化戦略
  - ④技術戦略
  - ⑤財務戦略
  - ⑥人財戦略
- 次期につきましては、上記戦略を推進する上で、
- ①ベトナム工場の量産体制の確立
  - ②基板、実装、治具の新規コア製品の開拓
  - ③抜本的業務改善の推進
  - ④車載向け品質保証体制の強化
  - ⑤開発商品の事業化
  - ⑥グループ全社でのコンプライアンスの遵守
  - ⑦後継者育成

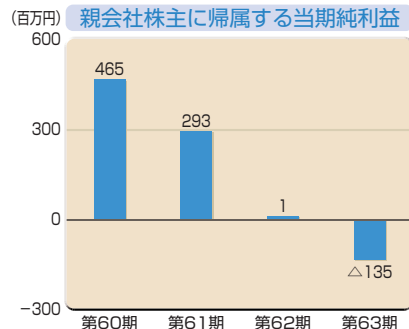
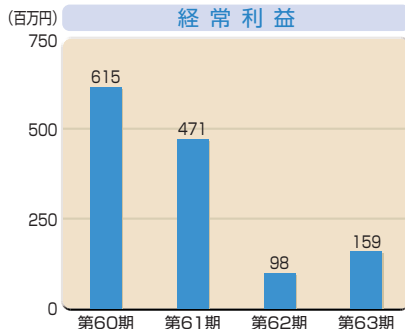
を重点課題といたしまして対処していく所存であります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大が引き続き懸念されますが、安全確保を最優先に、事業継続に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長  
兄嶋一登



## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(2021年3月31日現在)	(2020年3月31日現在)
	金 額	金 額
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,094</b>	<b>11,777</b>
現金及び預金	3,500	4,978
受取手形及び売掛金	3,411	3,541
電子記録債権	1,047	628
製品	836	695
仕掛品	452	370
原材料及び貯蔵品	1,122	829
その他	726	741
貸倒引当金	△2	△7
<b>固定資産</b>	<b>6,790</b>	<b>5,247</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,753</b>	<b>4,257</b>
建物及び構築物	1,452	705
機械装置及び運搬具	3,027	1,926
土地	724	723
建設仮勘定	252	630
その他	296	270
<b>無形固定資産</b>	<b>25</b>	<b>43</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,011</b>	<b>947</b>
投資有価証券	468	367
繰延税金資産	54	150
その他	487	428
貸倒引当金	△0	△0
<b>資産合計</b>	<b>17,885</b>	<b>17,025</b>

(単位：百万円)

期 別 科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(2021年3月31日現在)	(2020年3月31日現在)
	金 額	金 額
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>7,536</b>	<b>6,287</b>
支払手形及び買掛金	2,483	2,378
電子記録債務	913	795
短期借入金	2,633	1,941
1年内返済予定の長期借入金	315	164
リース債務	46	51
未払法人税等	219	88
賞与引当金	184	186
その他	739	681
<b>固定負債</b>	<b>3,915</b>	<b>4,121</b>
長期借入金	3,336	3,580
リース債務	97	60
退職給付に係る負債	399	386
その他	83	94
<b>負債合計</b>	<b>11,451</b>	<b>10,409</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>6,157</b>	<b>6,350</b>
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,172	1,153
利益剰余金	3,915	4,127
自己株式	△33	△33
その他の包括利益累計額	72	138
その他有価証券評価差額金	95	15
繰延ヘッジ損益	△24	△26
為替換算調整勘定	73	250
退職給付に係る調整累計額	△72	△101
非支配株主持分	203	127
<b>純資産合計</b>	<b>6,433</b>	<b>6,616</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,885</b>	<b>17,025</b>

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
	金 額	金 額
売上高	17,334	19,022
売上原価	14,365	15,855
売上総利益	2,969	3,167
販売費及び一般管理費	2,870	3,087
営業利益	98	79
営業外収益	189	95
営業外費用	128	77
経常利益	159	98
特別利益	24	98
特別損失	14	55
税金等調整前当期純利益	169	140
法人税、住民税及び事業税	115	120
過年度法人税等	158	—
法人税等調整額	53	18
当期純利益又は当期純損失(△)	△157	2
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△22	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△135	1

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	291	192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,218	△1,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	524	1,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,488	351
現金及び現金同等物の期首残高	4,847	4,496
現金及び現金同等物の期末残高	3,359	4,847

## ●連結株主資本等変動計算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,102	1,153	4,127	△33	6,350	15	△26	250	△101	138	127	6,616	
当期変動額													
剰余金の配当			△57		△57							△57	
親会社株主に帰属する 当期純損失			△135		△135							△135	
利益剰余金から 資本剰余金への振替		19	△19		—							—	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	80	1	△176	28	△65	76	10	
当期変動額合計	—	19	△211	—	△192	80	1	△176	28	△65	76	△182	
当期末残高	1,102	1,172	3,915	△33	6,157	95	△24	73	△72	72	203	6,433	

## 会社の概況 (2021年3月31日現在)

1. 主要な事業内容  
当社は、プリント配線板の製造・販売を主要業務としております。
2. 従業員数 1,316名 (連結)  
291名 (単独)
3. 主な子会社 (2021年6月25日現在)

名称	所在地
京写香港	中華人民共和国 香港特别行政区
上海営業所	中華人民共和国 上海市
京写広州	中華人民共和国 広東省 広州市
京写広州貿易	中華人民共和国 広東省 広州市
京写ノースアメリカ	アメリカ合衆国 ミシガン州 ノバイ市
京写タイ	タイ王国 バンコク都
京写マレーシア	マレーシア セランゴール州 ベタリンジャヤ市
京写インドネシア	インドネシア共和国 プカシ県 リッポーチカラ市
三和電子株式会社	岡山県津山市
京写韓国	大韓民国 仁川広域市
京写メキシコ	メキシコ合衆国 ケタラ州 ケタラ市
京写ベトナム	ベトナム社会主義共和国 ハナム省 ズイティエン県

## 取締役及び監査役 (2021年6月25日現在)

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	児嶋 一登	
取締役	桃井 茂	経営企画管理・CSR担当
取締役	児嶋 淳平	グローバル営業担当
取締役	日比 利雄	株式会社エヌビーシー 代表取締役社長
取締役	飯島 貞利	
常勤監査役	奥田 茂	
監査役	石田 昭	公認会計士、フジッコ株式会社 社外取締役 監査等委員、公益財団法人小林財団 監事
監査役	高岡 謙次	株式会社高岡 取締役

## 株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 58,000,000株  
発行済株式の総数 14,624,000株  
株主数 2,554名  
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社児嶋コーポレーション	2,048,000	14.3
児嶋雄二	1,155,800	8.1
株式会社エヌビーシー	524,000	3.7
児嶋淳平	480,000	3.3
児嶋一登	426,000	3.0
児嶋 亨	426,000	3.0
池田朋子	390,000	2.7
京都中央信用金庫	385,000	2.7
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人モルガスタシールMUFJ証券株式会社)	297,300	2.1
株式会社三菱UFJ銀行	260,000	1.8

(注) 当社は、自己株式294,287株を保有しており、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会 6月  
剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)  
(証券コード: 6837)

公告の方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.kyosha.co.jp/>) に掲載いたします。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。